

さくらとめぶきの恵みをいただく おいしいミュージアム

たべるをデザインする幸せ物語 うしをくる里からのメッセージ

さくらとめぶきの恵みをいただくおいしいミュージアムとは

サクラの花がひらき、木々の若葉が芽が吹く風景は、生命を育むシゴトが来たことを告げる合図でたくさんの歌に詠まれてきました。冬の間、大地から養分を蓄えて芽吹いた八十八夜の茶葉は、ことのほかにおいしく、私たちに元気を与える食べ物として愛されています。地域デザイン学芸員が集めたうしをくる里の恵みを糸口に、さくらとめぶきの季節を楽しむ暮らしのヒントをミュージアム体験に編集しました。

うしをくる里とは

うしをくる里は、昔もいまま森と泉をいただく豊かな大地がひろがる生き物たちの楽園です。その証に、きつね、貉、猪、牛、蛇、河童など人と動物にかかわるたくさんの物語が語り継がれています。森と泉の恵みがあるうしをくる里の大地には、人々がつくった「おいしい」の記憶がぎざみこまれています。文明開化の時代に、あんぱんを開発し、日本のパン文化の道をつくった木村安兵衛を育んだ大地の記憶があります。神谷伝兵衛が創業した神谷葡萄酒と牛久醸造場には、日本のワイン文化が誕生の記憶が記録されています。うしをくる里では、いまま栽培環境の北限という土地の強みをいかして、手間をかけて茶葉を栽培し、煎じる家族がいます。からだにやさしいモノをつくるという志を持って最高のこうじをつくりあげ、杉樽で味噌を醸造する家族もいます。うしをくる里にぎざみこまれた宝物は、私たちの生きるチカラをめざめさせてくれるもので、未来の暮らしのヒントを与えてくる富の源泉です。

7つのプログラム

1) ふるさとの宝物

①シングル茶葉（きつねの嫁入り）、②やよいひめ（森作いちご園のいちご）、③なたねのスイーツ、④紅天使（焼き芋）、⑤こうじの5つの食材をテーマに、⑥かさまの器と⑦うしをくる里のあやかし（狐や河童の物語）を縁結びしました。

2) 「おいしい風土記」（小さなブックレット）

「ふるさとの宝物」を小さなブックレットに編集し、「ふるさとの宝物」を楽しく学ぶプログラムにデザインしました。

3) おいしいカフェ体験

「ふるさとの宝物」をスイーツやカフェメニューにデザインしました。食べる体験をとおし、「おいしい」に秘められた物語を読み解きながら新しい知の冒険ができます。

4) あなたの夢が見つかる本棚

宝物とカフェをリンクする「本棚」をセレクトしました。「食べる」とリンクした新しい読書を楽しむことができます。

5) おいしいと本がリンクする空間

自由なスタイルで本を読み、食べる体験ができ、人とつながる場を演出しました。

6) おいしいワークショップ

おいしいをテーマに、地域デザイン学芸員が、ゲストを招待し、参加者が語りあい、交流するプログラムです。

7) おいしい感動を我が家に持ち帰るミュージアムグッズ

「おいしい感動」を、我が家に持ち帰り、みんなで共有するためにミュージアムグッズに編集しました。

カフェとミュージアムグッズ

“おいしいコレクション”を持ち帰り、みんなでわかちあってもらうために、“カフェ”と“ミュージアムグッズ”にしました。

■ドリンク：シングル茶葉を楽しむミュージアム体験

澤田茶園のある女化地区は、狐がお嫁さんになって恩返しをするという物語がある女化稲荷神社があります。

女化大地が育んだありのままの茶葉をカフェスタイルを開発しました。

新たに開発したとてのなにかさまの茶器セットを使うことで、一回淹れたお茶で「甘味」「渋味」「苦味」を3回楽しむことができます。いあまで気づけなかった日本のお茶の魅力を感じることができます。

■スイーツ：さくらとめぶきの旬を楽しむからだところんやさしいスイーツ

大地のチカラを知りつくした匠がつくりあげるからだにやさしい最高の食材です。

おいしいと健康を縁結びし、五感で楽しむことができるように編集したミュージアムプログラムです。

日本の菜の花からしぼりだしたからだにやさしいオイルを使ったスイーツと旬の食材を縁結びしました。

ドリンクとスイーツは、図書館またはレストラングルマンで体験できます。



うしをくる里からの贈り物



はじめてのワイナリー誕生の物語



人々の記憶を記録する地域デザイン学芸員



シングル茶葉を楽しむ匠の茶器



おいしい風土記を読む



幸せのおすそわけミュージアムグッズ

「地域デザイン学芸員」とは、博物館や図書館に新しい風を起こしたり、地域の文化、生活資源を付加価値化し、観光、都市デザイン、コミュニケーションなどの新しい産業を起業したり、これまでであった産業を文化や生活の視点から変革、創造することができる新しい人材です。筑波学院大学では、2018年4月から文部科学省より職業実践力育成プログラム（BP）として認定された「地域デザイン学芸員」のプログラム（社会人の学びの支援）をスタートし、受講者の学びの成果をプレゼンテーションするミュージアムプロジェクトを定期的に図書館で開催しています。

【問い合わせ先】 筑波学院大学 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3丁目1番地 TEL：029-858-4811（代表）

